

☆地域包括ケアふじえだプロジェクト☆

令和2年3月25日 VOL. 133

個別支援から地域の課題を抽出・解決！「地域ケア会議」

藤枝市では、高齢者に関する課題を解決するために「地域ケア会議」を行っています。地域ケア会議は市が委託している安心すこやかセンター（地域包括支援センター）の業務の一つで、ケアマネジャー、市職員、医療職、民生委員など多職種が参加し、高齢者の個別支援や、移動支援や集いの場の不足など地域の課題の集積を行っています。令和元年度には安心すこやかセンター7か所により132回（令和2年3月10日時点）の地域ケア会議が行われました。



地域の高齢者の課題解決方法を検討します！



藤枝市の地域ケア個別会議では、

- ・引きこもりや障害のある家族と高齢者のみで住む世帯への支援
- ・日常生活に課題のある独居高齢者、老老世帯が自立した生活を続け

ていくためのサポート方法の検討

- ・口腔機能や運動機能が低下している高齢者の重度化防止のためのアプローチの検討

等の議題が多く挙げられています。これらの会議の個別課題から浮かび上がった地域課題として、

- ・集いの場の不足
- ・家族の支援を得ることができない高齢者世帯の支援
- ・介護と障害、ケアマネジャーと医療職・サービス事業所等多機関・多職種間の関係づくり

が挙げられ、地域ケア推進会議を通して、民生委員やケアマネジャーへの地域課題の共有や地域課題解決のための下地づくりを行っています。

地域課題の解決のため、地域づくりでは市や地区社会福祉協議会が「支え合いの地域づくり会議」等を開催し、住民

主体の活動発足の準備を進めていきます。医療・介護体制では「在宅医療・介護連携推進会議」を通して、地域での医療・介護の包括的なケアを推進する支援体制を構築しています。

【地域ケア個別会議と地域ケア推進会議】

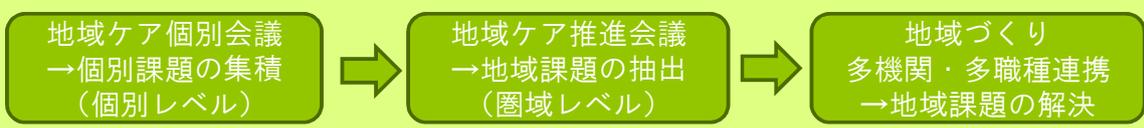
地域ケア会議には、それぞれの高齢者が抱える課題（個別課題）についてケアマネジャー支援という形で支援する「地域ケア個別会議」と地域全体で抱えている課題（地域課題）の抽出を行っていく「地域ケア推進会議」の2種類があります。

地域ケア個別会議は、課題を抱えている高齢者や家族の現状や課題を整理し今後の支援の方向性について検討する会議です。課題として挙げられるものは、運動・口腔機能の低下、栄養状況、閉じこもり、サービス導入拒否、不適切ケア等放っておくと介護状態の重度化のリスクや人権侵害のおそれとなるものが中心です。地域包括支援センター職員やケアマネジャー、民生委員、市職員、サービス事業者、医療職等多職種と親族関係者が参加します。現状の改善だけでなく、障害サービスから介護サービスへの移行といったサービスの変更の際の引き継ぎ目的でも開催されます。

地域ケア推進会議は、個別課題を集積させ地域課題を抽出するための会議です。地域課題として挙げられるものは、地域規模での個別課題で挙げられた重度化のリスクだけでなく、移動支援や集いの場の不足、独居高齢者の増加、要援護者の把握といった個別会議では解決できない課題です。会議には地域包括支援センター職員、ケアマネジャー、民生委員、生活支援コーディネーター、市職員、医療職などの多職種が参加します。

【地域ケア会議の活用の流れ】

地域ケア個別会議にて検討した個別課題を集積することを通して、地域の高齢者に共通する課題を地域ケア推進会議で抽出し、抽出した課題の解決のために、地域づくりや多機関・多職種連携を行っていきます。



安心すこやかセンターごとの取組内容を紹介！



7つの安心すこやかセンターそれぞれで高齢者の自立支援や口腔機能の改善といった地域ケア個別会議を開催しており、個別会議を積み重ねて抽出された集いの場の不足や健康課題といった地域課題を、地域ケア推進会議において民生委員やケアマネジャーとの情報共有、地域づくりや多機関・多職種連携の方法の検討を通して解決へと取り組んでいます。各安心すこやかセンターが地域ケア会議で検討した内容、地域課題や課題の解決に向けた取組を次のとおり紹介します。

| 安心すこやかセンター名 | 地域ケア個別会議の内容 | 地域課題として挙げられるもの | 地域課題解決への取組 |
|-------------|--|---|--|
| グリーンヒルズ藤枝 | <ul style="list-style-type: none"> ・運動機能に課題を抱えている高齢者の自立支援 ・独居高齢者への生活支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・集いの場の不足 ・男性の家事参加への支援 ・買い物、移動支援 ・介護と障害の共生 | <ul style="list-style-type: none"> ・瀬戸谷・稲葉・藤枝地区の地域健康課題と情報を共有。介護予防啓発を展開。 |
| 開寿園 | <ul style="list-style-type: none"> ・独居高齢者の自立した生活支援のための方向性の検討 ・引きこもりの子と高齢者への支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・ひとり暮らし高齢者のための会食会の復活 ・サロン・居場所・移動支援の増設 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の健康課題と情報共有 ・ひとり暮らしの高齢者のための会食会の検討 |
| ふじトピア | <ul style="list-style-type: none"> ・自立支援・重度化防止へのケアマネジメント ・多問題・複合的な課題を抱えた本人・家族への支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・自立支援に資するケアマネジメントの質の向上 ・地域住民と専門職との地域連携の強化 ・相談へのアクセス障害 | <ul style="list-style-type: none"> ・顔の見える関係や連携を推進するための検討 ・「きてみてふじトピア」や健康長寿応援隊、なんでも相談会の実施 |
| 社会福祉協議会 | <ul style="list-style-type: none"> ・支援困難ケースの情報共有と今後の支援方向性の検討 ・本人の生活状況の改善方法の検討 | <ul style="list-style-type: none"> ・生活支援コーディネーターとの連携 ・身近な介護者不在 ・障害から介護へのサービスの引継ぎ | <ul style="list-style-type: none"> ・青島地区の地域課題の共有 |
| 第2開寿園 | <ul style="list-style-type: none"> ・行方不明を繰り返す方への支援 ・必要なサービスに繋がらない高齢者への支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・単独、高齢者世帯への支援 ・多問題世帯の支援 ・社会参加の機会の創出 | <ul style="list-style-type: none"> ・青島地区の地域課題の共有 ・大洲地区の高齢者の課題の共有 |
| 愛華の郷 | <ul style="list-style-type: none"> ・障害・介護サービス併用に伴うケアマネジメント ・口腔機能に課題のある高齢者の支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・通いの場、移動、生活支援の持続可能な活動への支援 ・専門職の有効活用への視点不足 | <ul style="list-style-type: none"> ・大洲地区の高齢者の課題の共有 ・通いの場づくりのための高洲地区の健康課題の共有 |
| 亀寿の郷 | <ul style="list-style-type: none"> ・介護に課題を抱えた独居高齢者・老老世帯の本人・家族の支援 ・口腔機能・運動機能での支援が必要なケース | <ul style="list-style-type: none"> ・親族不在や家族が遠方に住む独居高齢者の支援 ・口腔、運動機能の低下や複数の疾患に対する支援方法 | <ul style="list-style-type: none"> ・災害時の対応についての情報共有 ・8050問題についての情報共有 ・移動支援の検討 |



令和2年度も、地域ケア個別会議を通してそれぞれの安心すこやかセンターで個別課題を積み重ねていながら地域課題を抽出し、地域ケア推進会議で地域の民生委員や地区社会福祉協議会など地域住民との情報共有、解決に向け地域づくりや多機関・多職種連携を実施していきます。

